

平成30年度 重点施策推進方針

平成29年10月10日
予算編成会議決定

I 基本的な現状認識

II 施策重点化の視点

III 重点的に取り組む施策等

IV 重点施策等の推進に当たって

I 基本的な現状認識

- 本県では、平成２６年３月に「第２期ふるさと秋田元気創造プラン」（以下「現行プラン」という。）を策定し、秋田の元気を創り上げるための６つの重点戦略に基づく施策・事業を展開してきたほか、平成２７年１０月に「あきた未来総合戦略」を策定し、「人口減少の克服」と「秋田の創生」の実現に向けた取組の充実・強化を図ってきたところである。
- この間、成長産業の育成、農業の複合型生産構造への転換、輸出や海外誘客の拡大に向けた海外交流の促進、全国トップレベルの子育て環境づくりなど、本県の自立と発展に向けた施策を推進してきた結果、航空機産業や自動車産業における一次サプライヤーの誘致、園芸メガ団地の整備等による戦略作目の生産拡大、県産品輸出額の増加やインバウンドを含む交流人口の拡大、本県への移住者の増加など、一定の成果が現れてきている。
- 一方、本県人口は、４,０００人程度で推移する社会減に加え、増加傾向にある自然減により、本年４月１日現在で戦後初めて１００万人を割り込むなど、少子化への歯止めや、女性・若者に魅力ある仕事の創出等の分野については、十分成果があがっているとは言えず、道半ばの状況にある。
- 我が国全体を見ると、日本の総人口が減少に転じた平成２３年以降も東京圏の人口は増加し続け、東京一極集中が進行する中、有効求人倍率がバブル期の最高値を超えるなど、全国的に人材獲得競争が激化している。また、アメリカのＴＰＰ離脱やイギリスのＥＵ脱退など、反グローバル化の動きが台頭しつつある一方で、日本とＥＵとのＥＰＡが大筋合意に達するなど、日本を取り巻くグローバル化の流れは加速を続けている。さらに、近年、訪日外国人旅行者数が急増しており、世界との間で人やものの往来が活発化している。
- 政府は、近年伸び悩む労働生産性や個人消費の向上等による「成長と分配の好循環」を構築し、緩やかな回復基調にある日本経済の成長を加速させるための目標として掲げた「名目ＧＤＰ６００兆円」の達成に向け、第４次産業革命による「Society5.0」の実現や、「一億総活躍社会」の形成に向けた「働き方改革」の推進等を柱とする様々な成長戦略を打ち出しており、今後、産業構造や就業構造に大きな変革が生ずることが見込まれることから、こうした動向に的確に対応していく必要がある。
- こうした基本認識のもと、人口減少の克服をはじめとする県政課題の解決に向けて、県民と問題認識を共有し、連携を深めながら、スピード感をもって、積極果敢に挑戦していくことが重要である。

Ⅱ 施策重点化の視点

○ 本年度は、現行プランの推進期間の最終年度であることから、これまでの取組の成果や昨今の社会経済情勢を踏まえつつ、本県の最重要課題である人口減少を克服し、秋田の元気創造を実現するための県政の運営指針として、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」（以下「第3期プラン」という。）を策定することとしており、4つの元気創造に向けた重点戦略に盛り込んだ各施策に重点的に取り組む必要がある。

○ 第3期プランにおいては、社会減や出生数減に歯止めをかける「攻め」の取組と、住民の共助の推進や市町村との協働など「守り」の取組の両面から、人口減少の克服を目指した施策を重点的に推進することとしている。そのためには、県内への定着・回帰の流れを確固たるものとしつつ、人口減少に伴う労働力不足や生産性の低下、地域社会の維持等の課題に対処するための新たな4つの横断的な視点を加味しながら施策の立案を行い、効果的な展開を図っていくことが重要である。

4つの横断的な視点は、それぞれ狙いを有するものであるが、特に、第4次産業革命によるイノベーションの活用については、本県産業や県民生活を劇的に変革させる大きな可能性を有していることから、そうした動きをしっかりと捉えながら、秋田の新時代を見据えた未来投資型の取組を大胆に展開していくものとする。

《4つの横断的な視点》

- ・賃金水準の確保や就労環境の改善等による女性や若者に魅力ある仕事の創出
- ・県内高等教育機関等における県内産業界の即戦力となる人材の育成
- ・県内産業の振興、県民生活の向上等、幅広い分野における第4次産業革命によるイノベーションの活用
- ・元気な高齢者が担い手として活躍できる雇用の場の拡大

○ 具体の施策・事業の立案については、政策評価システム等を通じた成果の検証等を十分に行い、新たな施策立案や事業の改善に反映させていくこととする。

【第3期ふるさと秋田元気創造プラン(平成30～33年度)】

秋田の元気の創造

人口減少を抑制し、県民が豊かさを実感し、生き生きと暮らすことができる「ふるさと秋田」の実現を目指し、4つの重要な視点に立ちながら、4つの元気を創造していく。

《4つの重要な視点》

- ・産業振興を通じた仕事づくりによる人口流出の歯止め
- ・首都圏から秋田への人の流れの創出
- ・結婚・出産・子育てに関する希望の実現
- ・健康で安全・安心な地域社会の形成

《 4つの元気》

- ・人口減少の抑制と地域を守るシステムの構築
- ・県内産業の「稼ぐ力」の向上と質の高い雇用の創出
- ・交流人口の拡大と交通基盤の充実
- ・健康で安心な生活の実現と未来を支える人づくり

元気創造に向けた重点戦略の推進

本県の先進性や優位性を最大限生かしながら、6つの重点戦略を進めるための施策を展開していく。

《 6つの重点戦略（戦略名は仮称） 》

- | | |
|-----------------|------------------|
| 戦略1：ふるさと定着回帰戦略 | 戦略2：成長産業振興戦略 |
| 戦略3：稼ぐ農林水産業創造戦略 | 戦略4：人・ものの交流拡大戦略 |
| 戦略5：いきいき健康長寿戦略 | 戦略6：地域を支える人材育成戦略 |

基本政策の推進

県民の生命や財産を守る取組など、基礎的な生活環境の整備等の促進に向けて、継続的に取り組むべき基本的な政策を推進する。

Ⅲ 重点的に取り組む施策等

第３期プランの推進期間（平成３０～３３年度）の初年度として、６つの重点戦略に基づく施策等を、全庁を挙げて推進する。

～第３期ふるさと秋田元気創造プランの推進～

戦略１：ふるさと定着回帰戦略（仮称）

○施策１ 社会減の抑制に向けた雇用の場の創出、人材育成・確保

女性や若者に魅力ある雇用の場の創出と産業人材の育成・確保に向けた取組
（航空機産業等の成長分野の競争力強化、就業環境の向上、業界団体と連携した研修や資格取得の支援 など）

○施策２ 若者の県内定着・回帰と移住の促進による秋田への人の流れづくり

・首都圏等の大学新卒者向けの県内就職を支援する体制の強化
・移住潜在層へのアプローチと情報発信の強化 など

○施策３ 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

・あきた結婚支援センターのマッチング機能の強化
・保育料助成の更なる拡大・充実と子育て世帯への新たな負担軽減策の実施 など

○施策４ 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

・（仮称）あきた女性活躍・両立支援センターの設置による企業への働きかけの強化
・若者による地域活性化に向けた取組への支援の強化と地域づくりリーダーの育成 など

○施策５ 活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり

・まちづくりを担う人材の育成・発掘と官民連携によるリノベーションの推進
・県・市町村の新たな協働と「小さな拠点」の形成の推進
・町村における行政サービスの維持に対する支援 など

戦略２：成長産業振興戦略（仮称）

○施策１ 成長分野の競争力強化と中核企業の創出・育成

・ＩｏＴ・ＡＩ技術等に関する先導的なベンチャー企業の誘致・育成
・航空機構造材向け複合材の低コスト製造技術開発と製造拠点の創出
・医療・福祉ニーズに基づいた新技術を活用した医療福祉製品開発と事業化 など

○施策２ 中小企業・小規模事業者の活性化と生産性向上

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none">・女性起業家の育成と起業支援・個店の魅力向上と空き店舗解消等による商店街の活性化・ＩＣＴを活用した県内建設業の生産性の向上 | など |
|---|----|

○施策３ 国内外の成長市場の取り込みと投資の促進

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none">・継続的な取引に向けた県内企業の海外展開に対する集中的な支援・市町村との連携による企業誘致の促進 | など |
|---|----|

○施策４ 産業人材の確保・育成と働きやすい環境の整備

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none">・第二新卒者の求人掘り起こしと地元企業の魅力発信力の強化・ＩＣＴ人材の確保・育成を行う拠点の整備 | など |
|---|----|

戦略３：稼ぐ農林水産業創造戦略（仮称）

○施策１ 秋田の農林水産業を牽引する多様な人材の育成

- | | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none">・多様なルートと幅広い年齢層からの新規就農者の確保・農業労働力の安定確保と農作業の軽労化に向けた、先進的な労働力調整モデルの展開及びロボット技術の普及拡大 | など |
|--|----|

○施策２ 複合型生産構造への転換の加速化

- | | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none">・園芸メガ団地等の大規模園芸拠点の拡大と新たなトップブランド品目の育成・大規模肉用牛経営に対する支援の強化 | など |
|--|----|

○施策３ 戦略的な秋田米の生産・販売と水田フル活用

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none">・業務用や特定需要など実需と結びついた米づくりの推進・産地づくりと一体となったほ場整備の推進 | など |
|---|----|

○施策４ 農林水産物の高付加価値化と国内外への展開強化

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none">・ＪＡによる６次産業化の促進と異業種連携の強化・中食・外食企業との連携による流通・販売体制の構築 | など |
|---|----|

○施策５ 「ウッドファーストあきた」による林業・木材産業の成長産業化

- | | |
|---|----|
| <ul style="list-style-type: none">・新たな木質部材の開発・普及と東京オリンピック・パラリンピックを契機とした県産木材の供給拡大・秋田林業大学校の研修内容の充実 | など |
|---|----|

○施策６ つくり育てる漁業と広域浜プランの推進による水産業の振興

- | | |
|--|----|
| <ul style="list-style-type: none">・種苗生産技術の開発と栽培漁業施設の整備・第３９回全国豊かな海づくり大会等を契機とした本県水産業の情報発信 | など |
|--|----|

○施策 7 地域資源を生かした活気ある農山漁村づくり

- | | |
|--|----|
| ・ 多様な資源を生かした地域ビジネス展開への支援
・ 里地里山における農地の保全活動や地域づくり活動等への支援 | など |
|--|----|

戦略 4 : 人・もの交流拡大戦略（仮称）

○施策 1 地域の力を結集した「総合的な誘客力」の強化

- | | |
|---|----|
| ・ 秋田を訪れる動機となる際立った観光コンテンツを生かした誘客の推進
・ アジアを中心とする旺盛な訪日需要を取り込む戦略的なインバウンド対策の推進
・ クルーズ船受入環境等の整備 | など |
|---|----|

○施策 2 「食」がリードする秋田の活性化と誘客の推進

- | | |
|--|----|
| ・ 県産食品の輸出拡大に向けたブランディングの推進と商流・物流の構築
・ 発酵をキーワードとする秋田の食のブランド化と観光誘客への活用 | など |
|--|----|

○施策 3 文化の発信力強化と文化による地域の元気創出

- | | |
|--|----|
| ・ 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた秋田ならではの文化資源のPR
・ 本県の文化振興の拠点となる県・市連携文化施設の整備 | など |
|--|----|

○施策 4 「スポーツ立県あきた」の推進とスポーツによる交流人口の拡大

- | | |
|---|----|
| ・ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた海外からの事前合宿誘致とホストタウン制度を活用した継続的な交流の促進
・ 競技力の向上に向けたジュニア世代からの一貫指導体制の強化
・ プロスポーツの活動拠点整備のあり方に関する検討 | など |
|---|----|

○施策 5 県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備

- | | |
|---|----|
| ・ 日本海沿岸東北自動車道、東北中央自動車道の事業中区間の整備促進
・ 国道 105 号「大曲鷹巣道路」(大覚野峠)の事業化に向けた検討 | など |
|---|----|

○施策 6 交流の持続的拡大を支える交通ネットワークの構築

- | | |
|--|----|
| ・ LCC や奥羽・羽越新幹線等の新たな交流基盤の確立に向けた取組の推進
・ 生活バス路線等地域公共交通の確保と観光利用を含めた第三セクター鉄道の利活用の促進 | など |
|--|----|

戦略 5 : いきいき健康長寿戦略（仮称）

○施策 1 健康寿命日本一への挑戦

- | | |
|---|----|
| ・ 「10 年で健康寿命日本一」を目指す県民運動の展開
・ 喫煙率の低減と受動喫煙から子どもや妊産婦、非喫煙者を守るための対策の強化 | など |
|---|----|

○施策２ 心の健康づくりと自殺予防対策

- ・ 児童や生徒を対象としたＳＯＳの出し方教育と教職員向けの自殺予防研修の強化
- ・ がんや慢性疾患患者、高齢者等に対する自殺予防対策の強化 など

○施策３ 医療ニーズに対応した医療提供体制の整備

- ・ 地域の在宅医療提供体制の確保に向けた高齢者施設等近接型の診療所の整備に対する支援
- ・ 高齢者に特有の疾患等の予防・治療に関する研究等に対する支援 など

○施策４ 高齢者や障害者等が安全・安心に暮らせる福祉の充実

- ・ 医療・介護・福祉等の連携の強化と地域共生社会の構築に向けた取組の推進
- ・ 介護サービス事業所認証評価制度の普及促進 など

○施策５ 次代を担う子どもの育成

- ・ 児童虐待への対応強化と社会的養護を必要とする児童の里親委託の推進
- ・ 貧困状態にある子どもの学習支援の充実と支援のつなぎの役割を担うコーディネーターの養成 など

戦略６：地域を支える人材育成戦略（仮称）

○施策１ 自らの未来を主体的に切り拓き、秋田を支える気概に満ちた人材の育成

- ・ 児童生徒と職場体験等を受け入れる県内企業等を結ぶウェブサイトの構築
- ・ 特別支援学校における地場産業と連携した職業教育の充実と新たな職域の開拓 など

○施策２ 子ども一人一人に応じた教育の充実と確かな学力の定着

- ・ 小・中学校における少人数学習の着実な実施と運用の改善
- ・ 高等学校における少人数学級の導入と探究型授業の展開に向けた実践研究 など

○施策３ 世界に羽ばたくグローバル人材の育成

- ・ 高校生を対象とした海外研修等の実施
- ・ 海外との青少年交流の推進 など

○施策４ 豊かな人間性と健やかな身体の育成

- ・ いじめや不登校などの防止等に向けた教育相談体制の強化
- ・ 地域人材の活用による授業の充実と運動部活動への支援 など

○施策５ 子どもの成長を支える魅力的で良質な学びの場づくり

- ・ 高校の再編整備等による県立学校の整備・改築の推進
- ・ 「家庭教育支援チーム」の市町村への設置の推進 など

○施策６ 地域社会と産業の活性化に資する高等教育機関の振興

- | |
|---|
| ・ 高等教育機関による地域社会や産業が抱える諸課題の解決に向けた取組への支援 など |
|---|

○施策７ 地域を元気にする住民参加の学びの場と芸術・文化に親しむ機会の提供

- | |
|--------------------------------------|
| ・ 民間企業等との連携による多彩な学びの場と質の高い学習機会の提供 |
| ・ 生活の身近な所で読書に親しめる環境づくりの推進 |
| ・ 地域の子どもたちが民俗芸能を学び発表する体験学習等の機会の提供 など |

基本政策

○県土の保全と防災力強化

- | |
|-------------------------------|
| ・ 中小河川等における減災対策の推進 |
| ・ ＩＣＴ等を活用した円滑・迅速な住民避難行動の促進 など |

○環境保全対策の推進

- | |
|---|
| ・ 県民総参加による地球温暖化防止活動の推進 |
| ・ ツキノワグマによる被害防止対策の強化とニホンジカ等の適正な管理の推進 など |

○安全・安心な生活環境の確保

- | |
|---|
| ・ 交通安全対策の推進と消費者被害の防止 |
| ・ 動物愛護センター（仮称）の整備など「動物にやさしい秋田」の取組の推進 など |

○ＩＣＴの活用

- | |
|---------------------------|
| ・ 医療分野等へのＩＣＴの利活用の推進 |
| ・ 県が保有する情報のオープンデータ化の推進 など |

Ⅳ 重点施策等の推進に当たって

重点施策等の推進に当たっては、次の事項に留意するものとする。

1 積極果敢なチャレンジ

本県の最重要課題である人口減少の克服に向け、時代の潮流を的確に把握し、既成概念にとらわれない斬新な発想のもと、様々な困難に真正面から立ち向かい、スピード感をもって積極果敢にチャレンジしていく。

2 「チーム秋田」による取組

本県の課題解決に当たっては、部局間の連携を更に強化するとともに、地域や民間団体、企業、市町村等と連携を密にし、県民総参加で取り組む必要がある。

そのため、施策の推進に当たっては、広く取組を周知し、県民の理解と協力のもと、「チーム秋田」で一丸となって取り組んでいく。

3 成果の追求

選択と集中による効果の発現を期すため、現行プランの進捗状況と成果について十分に検証し、その結果を踏まえた実効性のある施策展開を図り、県民が実感できる成果を追求するとともに、県の取組や成果等について、県民にわかりやすい形で情報提供を行うよう努める。